デンジソウの群生地秦野で発見

守矢淳一

Discovery of *Marsilea quadrifolia* L. from the Hatano in Kanagawa Prefectur.

Junichi MORIYA

1980年10月19日，神奈川県植物誌調査会の湘南地区植物合同調査会が，平塚市博物館の浜口哲一氏の案内で，大秦野一震生湖間で行われた。コース中の秦野市尾尻字大上の休耕田中に水生シダであるデンジソウ *Marsilea quadrifolia* LINN の自生地があった。これは1980年の夏に秦野市の調査を担当している住吉静子さんの発見によるものである。

自生地は湿田で，一部には湧水が流れ，うっかり踏み込もうものなら，靴がズブズブめり込み足のとられそうな場所であった。その面積は20～30㎡にわたり，あたかもクローバーを敷きつめた畑のような見事な群生地であった。その近くには紅白に色どられたミゾソバが群生し，枯れかかったコゴメガヤツリ，カワラスガナ，アゼガヤツリ，ヒデリコ，キカシグサなどが見られた。

先年藤沢市鵠沼藤ケ谷４丁目で，廃棄された水田中に大群生が発見され，それが宅地造成のために埋立てられることで話題になったが，現在県下では極めて稀な存在を示す貴重な水生シダとなっている。筆者の住む平塚市内でも，かつては各地の湿田中に見られたもので，筆者の記録では1953年市内中原下宿での確認をしているが，その後埋立てられてしまった。

横須賀市博物館大谷茂先生の神奈川県の羊歯植物によれば，神奈川では稀少価値となっている貴重な植物で，川崎：登戸（1932）・大島（1939），横浜：金沢（1922），横須賀1879，藤沢：鵠沼藤ケ谷４丁目（1967～1971），足柄下郡：橘町（1957），小田原：曽我（1948）の記録があげられている。

文　献

大谷茂　1976　神奈川県の羊歯植物（8）．横須賀市博物館研究報告，自然科学，22：*18-19*

（湘南青少年の家）

デンジソウの群生（1980.10.16　撮影　浜口哲一）